

## 第46回（2019年度）

# 岩谷科学技術研究助成候補者推薦要項

### 1. 助成の趣旨

岩谷科学技術研究助成は、エネルギーおよび環境に関する独創的で優れた研究に対して助成を行うことにより、科学技術の一層の発展を図り、国民生活の向上に寄与することを目的とします。

### 2. 助成の対象

#### (1) 研究課題

次の分野に関する独創的な研究とします。また、そのための新たなシステムの開発や創発的基礎研究を含みます。

##### ①再生可能エネルギー源

太陽エネルギー、風力エネルギー、波力・潮力エネルギー、地熱、バイオエネルギーなど

##### ②将来に期待される燃料

水素や新燃料等の製造・利用、合成液体燃料など

##### ③エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化など

太陽電池、燃料電池、二次電池、燃焼技術、廃熱回収など

##### ④エネルギー材料

エネルギーの貯蔵、輸送、利用、変換の高効率化に重要な役割を果たす材料など

##### ⑤低温の利用

液化ガスの利用、低温技術、食品・バイオ材料の貯蔵など

##### ⑥環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性

環境汚染防止、CO<sub>2</sub>削減、グリーンケミストリー、環境監視測定、環境影響評価など

#### (2) 対象者

日本の国・公・私立大学（大学附置または附属研究所を含む。）および高等専門学校に在籍する個人またはグループとし、グループの場合はその代表者を候補者とします。

なお、候補者の研究内容は上記の研究課題に関するものであり、現に研究に従事するか、または具体的に研究着手の段階にあり、1～2年以内に研究の成果が期待されるものとします。

### 3. 助成の内容

#### (1) 件数と助成金

助成件数は55件以内（昨年度実績55件）とし、1件当りの助成限度額は200万円とします。なお、助成金は2020年4月から5月末までの間に、振込により一括で指定口座（個人の口座は除く）に入金いたします。

#### (2) 助成期間

助成期間は、2020年4月1日から始まる1年間を基本とし、実際の研究期間が当初の予定より長引いた場合であっても、2022年3月31日までの2年間で予定の研究を完了するものとします。

#### (3) 助成金の使途

研究目的を達成するために必要なものであれば、概ね自由としますが、校閲・論文投稿料、研究成果発表のための会議参加費はそれぞれ助成希望額の20%以内とします。

また、助成金受領後その使途が20万円以上変更されるときは事前に財団の承認を必要とします。

なお、研究者（被推薦者）が所属する機関の間接経費、一般管理費（オーバーヘッド）については、原則として認めませんのでご承知おき下さい。

また、助成期間中に助成金受領者本人が他の研究機関に異動した場合は、既に支給済の助成金は、必要に応じて新旧の研究機関同士で移転の手続きをとるものとします。

#### (4) 助成金受領者の義務

助成金受領者は、財団との間で覚書を交わし、これに基づいて研究を実施するものとし、助成期間内に予定の研究を完了して研究報告書および収支報告書を提出していただきます。1年間で研究が完了せず2年目も研究を継続する場合は、3月末に当該年度の概要報告（進捗状況）および収支報告書を提出して下さい。

併せて、助成期間が終了する直前の3月7日（7日が休日の場合はその前後）に開催する研究成果発表会に出席し、研究の成果または進捗状況について報告していただきます。

なお、所定の2年以内に予定の研究が完了しない場合、または研究を中止した場合には、助成金の受給資格を失い、支払済の助成金の全額または一部の返還を求める場合があります。

### 4. 推薦方法

#### (1) 推薦者

推薦者は、日本の国・公・私立大学の大学院関連研究科長（または関連学部長）、大学附置または附属研究所の所長および高等専門学校の校長とします。

#### (2) 推薦書

所定の推薦書に必要事項を記入し、正本1部・副本（コピー）3部を、研究テーマに関連する研究論文の抜刷（1～2編、1編につき4部を、1部ずつクリップ止め）とともに提出して下さい。

なお、提出された推薦書および添付資料は返却いたしませんのでご承知おき下さい。

※推薦書は当財団のホームページからダウンロードできます。推薦書作成に際し、各項目ともスペースは必要に応じて拡大しても構いませんが、枚数はA4サイズ6枚以内に収めて下さい。印刷は、片面・両面のどちらでも構いませんが、読みやすさを考慮して下さい。

### (3) 推薦件数

推薦件数は、各大学、大学の研究所および高等専門学校とも、同一部局から2件以内とします。(但し、大学の学部と関連大学院は、合わせて一部局と看做します。)

推薦書は部局単位でまとめて事務局に送付して下さい。

同一部局から3件以上の推薦があった場合は全て失格とすることがあります。

(同一部局で複数のキャンパスがある大学は特にご注意下さい。)

### (4) 推薦期間と締切日

推薦期間は、2019年6月1日(土)から7月31日(水)までの2ヶ月間です。

2019年7月31日(水)の消印有効とします。

## 5. 選考委員

下記委員で構成される選考委員会で審査・選考します。

選考委員長	安井 至	(一財)持続性推進機構理事長 東京大学名誉教授
選考副委員長	奥山雅則	大阪大学名誉教授 大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター 招聘教授
選考委員	石田清仁	東北大学名誉教授
	岡田益男	東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチフェロー 東北大学名誉教授 (独)八戸工業高等専門学校名誉教授
	川崎昌博	(共)人間文化研究機構総合地球環境学研究所客員教授 京都大学名誉教授
	黒田千秋	東京工業大学名誉教授
	塩路昌宏	京都大学名誉教授
	下村 哲	愛媛大学大学院理工学研究科教授
	須貝 威	慶應義塾大学薬学部教授
	関 実	千葉大学理事・副学長
	正木春彦	東京大学名誉教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員

## 6. 選考結果の通知

選考結果は、2019年11月下旬に推薦者および候補者に対して文書により通知します。

## 7. 贈呈式

助成金受領者に対する贈呈式は、2020年3月9日（月）に行う予定です。

### <個人情報の取り扱いについて>

当財団は、「個人情報保護に関する法律」「個人情報保護に関する基本方針」および「公益財団法人岩谷直治記念財団が業務上保有する個人情報の利用目的」に基づき、個人情報に関して適用される法令及びその精神を尊重、遵守し、個人情報を適切かつ安全に取扱うとともに個人情報の保護に努めるものとします。

### <応募書類提出先>

公益財団法人 岩谷直治記念財団

住所：〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番11号 八重洲h+ビル3階

### <連絡先>

公益財団法人 岩谷直治記念財団

電話：03-6225-2400

FAX：03-3231-7070

担当：常務理事 江田 一道 (eda@iwatani.co.jp)

事務局長 岡田 高典 (okada@iwatani.co.jp)

URL：<http://www.iwatani-foundation.or.jp>

e-mail：[information@iwatani-foundation.or.jp](mailto:information@iwatani-foundation.or.jp)

推薦書を提出後、異動等により住所や電話番号、所属機関、部局、職位等の記載情報に変動が生じた場合は、直ちに上記連絡先宛にその旨を通知していただくようお願いいたします。

以上